

<スクールアルバム>

中学部社会科見学でいざ鎌倉へ！



地域清掃でスッキリ！



クリスマスマーケットに出店



理科特別授業



葉っぱに隠れている幼虫を探して、冬越しする幼虫を学びました

🎄 全校生徒でにぎやかにクリスマス会 🎄

小学部では劇にも挑戦！

高等部・HOPEのクリスマス会は別館で和やかに



お願い・ご報告

- 明けましておめでとうございます。今年も主によって皆さまの健康が守られ、支えられ、各ご家庭の上に主の祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。どうぞ、よろしくお祈りいたします。
- 12月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力を感謝します。
- 2月1日（木）～2日（金）、スクールリトリート（のありート）を実施します。対象は、小5以上です。ダイヤモンドチャペルで活動し、宿泊は上郷森の家になります。小1～4年生は、1日（木）は、通常授業、通常下校、2日（金）は、特別授業、14時下校です。詳細につきましては、配布してありますレターにてご確認をお願いします。
- 2月9日（金）、当スクールを会場として日本漢字能力検定を実施します。検定は、午後に実施しますが、詳細につきましては、後日お知らせします。下校時刻は1、2年：通常下校、8～10級受検者：14時45分下校、2～7級受検者：15時15分下校です。
- 年度末にあたり、2月28日（水）～、授業は、4限までとなります。昼食ありで、下校は14時（水曜日は、13時40分）です。年度当初にお渡ししております、「2023年度年間行事予定」にてご確認をお願いします。

祈祷課題

1. 生徒一人ひとりが自分を大切にすることを通して 他人も理解し尊重していくことができるように。
2. スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき、身体も支えられて喜びをもって指導にあたることができるように。
3. のありートに向けての準備が祝福されるように。
4. 学校法人への道が開かれていくように。



のあインターナショナルスクール

スクール通信 1月号

2024.Jan. 1
VOI.198

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10
TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「創造の御業の一端」

小学部 3～6年女子担任 岩村美奈子

主のことばによって 天は造られた。

天の万象もすべて 御口の息吹によって。(詩篇33:6)

天は神の栄光を語り告げ

大空は御手のわざを告げ知らせる。(詩篇19:1)

今年度、中学生の理科を担当し化学分野の学びを進めています。その中でぜひ受け取ってほしいと願っていることを、ここでもお伝えしようと思います。

この世界の物質はすべて、原子から成っていますが、その成り立ちは本当に不思議で、神さまの美しい御業を感じるものの一つです。

神さまのルールはシンプルで、原子は、陽子(と中性子)でできた原子核の回りを、陽子と同じ数の電子がぐるぐる回っているだけです。陽子はプラスの電荷をもつので、マイナスの電荷をもつ電子が同じ数だけ原子核の周りを回することで、バランスが保たれて電氣的に中性になっています。マイナスの電子同士は反発し合うので、その並び方にも自ずとルールがあり、陽子の数(=電子の数)が違くと電子の並び方が決まってきます。電子の並び方が決まると、その原子の性質も決まります。そのように、ごくシンプルなルールに従って、多くの種類の原子がこの世界に存在し、それぞれの性質をもっています。

原子の性質を見る時、人の個性と重なるものも感じます。単独では不安定で、他の原子から電子をもらったりあげたりして(プラスやマイナスの電荷を帯びたイオンになって)互いに引きつけ合う(イオン結合する)もの、電氣的にはどちらにもなりにくいけれど他の仲間(原子)と協力する(共有結合する)もの、(電氣的にも電子配置的にも)安定していて他者に関心の無い(反応性に乏しい)もの。私たちの社会では、一般的には、できるだけ他者に依存しないで生きることが良いことのように教えられているように思いますが、原子の世界を見ると、そんな原子は種類としても数としてもごくわずかです。だからこそ、いろいろなつながりによって様々な物質ができて、今私たちが目にしていくような世界が創られています。私たちは、得意なことだけでなく苦手なことも含めて個性が与えられて、他者と協力して生きるように創られているのだなあと、化学の世界からも感じます。

神さまのルールはシンプルで、すべてのものはそのルールに従って、この世界が保たれています。人間に与えられたルールもまたシンプルで、そのルールに従う祝福が約束されています。

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

(ヨハネ15:12)

1月のカレンダー

日	月	火	水
	1日 元日	2日	3日 ~1月5日(金) 冬休み A先生誕生日
7日	8日 成人の日	9日	10日 学部別礼拝(1限) ← スクーリング(高等部1,2年) →
14日	15日	16日	17日 合同礼拝(1限) →
21日	22日	23日	24日 芸術鑑賞「お能」 (10時30分プラザホール)
28日	29日	30日	31日 合同礼拝(1限) 高等部学力考査(一次)(1~3限 授業 昼食なし11時50分下校)

- ・10日(水)~16日(火)、高等部(1、2年生)は、相生学院高等学校(兵庫県 猪名川校)でスクーリングです。前日9日(火)に出発します。また、続けて17日(水)に行われるクリスチャンスクール交流会に参加します。祝福をお祈りください。なお、高1、2年生は、18日(木)、19日(金)は、代休となります。
- ・13日(土)10時~12時、ダイヤモンドチャペルにて保護者向けセミナー、スタッフ研修として、傾聴セミナーを行います。保護者の皆さまも、スタッフの皆さまも、是非参加しましょう。「子どもの心のケア~聴いて育つ~」と題し、講師は岩上真歩子氏です。詳細は、配信しておりますメールにてご確認ください。
- ・24日(水)10時30分~、あーすぷらざ・プラザホールにて行われる、お能の鑑賞会「うひまなび」に参加します。「うひまなび」とは、初めて体験しようという意味です。日本の伝統芸能を鑑賞し、摺り足などを体験します。保護者の皆さまもどうぞご参加ください。詳しくは、チラシにてご確認ください。
- ・31日(水)は、高等部学力考査(一次)実施のため、1~3限の通常授業で、昼食はありません。在校生は、11時50分下校です。12時15分には、完全下校になります。ご協力をお願いします。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みを受けている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。11日(木)、18(木)、25(木)の13時15分~です。詳細は鈴木までご連絡ください。

今月のみことば(暗唱聖句)

「あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です。」詩篇119:105

“Your word is a lamp to my feet And a light to my path.” Psalm 119:105

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

木	金	土
4日	5日	6日
S先生誕生日		
11日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	12日 クラブ活動（6限）	13日 保護者・スタッフセミナー （10時ダイヤモンドチャペル）
18日 代休（高等部1, 2年） 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	19日 代休（高等部1, 2年） クラブ活動	20日
25日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	26日 委員会活動	27日



子育てnote

畏れるべき方を知る

主を恐れることは知識の初め。愚か者は知恵と訓戒を蔑む。箴言 1章 7節

ある国で一人っ子政策が長い間続きました。子供たちは、それぞれの家庭で王様のように大切にされて成長しました。その政策の下で大人になった人たちが、今世界中を旅行するようになり、さまざまな観光地で迷惑をかけているそうです。スウェーデンでは、ホテルが大迷惑、ベネチアでは、船頭の静止も聞かず、舟のバランスも考えずに写真のために自由に移動するので、観光用の小舟が転覆しました。タイでは些細な事での喧嘩が絶えない、といったニュースが最近入ってきています。

「自由」という言葉は、現代人が一番好む言葉であろうと思われます。自由や身勝手さは、しつけや指導がなくても自然に身に付く習性ですが、一方で、「正しく畏れる心」は、良きモデルがないと身に付かない心です。「正しく畏れる心」とは、目上の人や親を敬う心であり、創造主である神を畏れ敬う心です。実はこの心こそ、子供の成長期において一番大切な、身に付けるべき心です。畏れることを知ると、いかに自分の存在が、そして自分の体が、また自分に関わる一切のものが、自分の力によって得たものではなく、周りから、また、上から与えられたものであることを知ります。そして、身の回りの人、特に自分のケアをしてくれる親や先生などを敬うことは、社会性を身に付けていく上での土台となるものです。また、自分がどのような存在であるかという、自分の存在の原点を知ることができま。この世界には、目に見えない力が様々に働き、目に見えない先行きも待ち受けていますが、その中を生きるにおいて、深い安心感と共に進んでいくことができるようになります。この安心感こそが、一人ひとりに与えられている能力や可能性を豊かに引き出す土台となります。畏れる心は、良きモデルがないと身に付かない、と書きましたが、関わる私たちがまず、私たちの人生を支配する権威をお持ちの方を畏れ敬う心を持つ中から、その姿勢が彼らのものとして伝わっていきます。また家族の中で互いに敬い合うことも、そのモデルが必要です。家庭は、子どもの心のモデリングの場です。

校長 月井博

